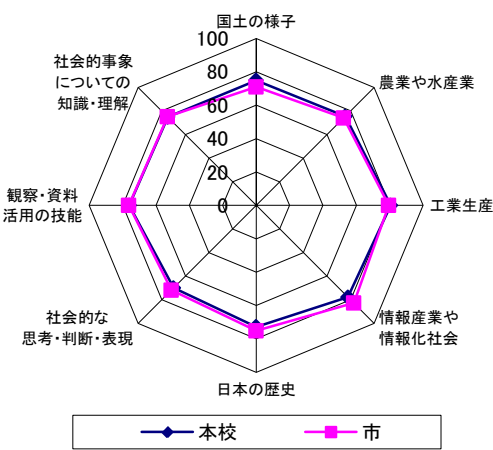


宇都宮市立緑が丘小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	74.9	71.0	69.4
	農業や水産業	75.3	74.0	69.0
	工業生産	80.6	79.4	75.4
	情報産業や情報化社会	77.8	82.8	88.7
	日本の歴史	72.8	75.2	72.7
観点別	社会的な思考・判断・表現	70.0	71.9	67.2
	観察・資料活用技能	76.0	76.3	70.7
	社会的事象についての知識・理解	74.8	75.1	73.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
（社会では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。）



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	○正答率は74.9%であり、市の平均を上回っている。 ○日本の周辺の海洋名を問う設問においては、91.7%の正答率であり、市の平均を上回っている。 ●国土の主な山脈、川、平野の名称の理解については、正答率が52.8%であり、市の平均を下回っている。	・知識・理解に偏りがあるので、海洋名だけでなく、主な山脈、川、平野の名前を覚えられるように指導していく。その際、周辺の地域の名前や昔から伝わっている名称などを教え、ただ覚えるのではなく、関連付けて覚えることで知識を定着させたい。
農業や水産業	○正答率は75.3%であり、市の平均を上回っている。 ○稲作の工夫や努力について資料を読み取る設問においては、正答率が94.4%であり、市の平均を上回っている。	・知識のみを教え込む授業ではなく、資料やグラフ、図から読み取る学習活動を行ってきた成果と思われる。今後も教科書だけでなく、資料集等も使い、資料から読み取る学習を行っていきたい。
工業生産	○正答率は80.6%であり、市の平均を上回っている。 ○工業生産に従事している人々による、環境保全のための工夫や努力について考える設問では、正答率が94.4%であり、市の平均を上回っている。	・知識のみを教え込む授業ではなく、与えられた資料やグラフ、既習の知識を使い、予想されることや考えられること、自分の考えを書く学習活動を取り入れていく。
情報産業や情報化社会	●正答率は77.8%であり、市の平均を下回っている。 ●情報ネットワークの活用で、サービスが向上したことに関して資料を読み取って考える設問においては、正答率が59.7%であり、市の平均を10ポイント以上下回っている。	・複数ある資料や図、グラフから、必要な情報を抜き出し、それらを活用して予想されることや考えられることを書く学習活動を取り入れるようにしていく。多面的に物事をとらえたり、情報整理力を身に付けられるようにしていく。
日本の歴史	●正答率は72.8%であり、市の平均を下回っている。 ○鎌倉時代、室町時代の設問に関しては、正答率が市の平均を上回っている。 ●明治時代、大正時代の設問に関しては、正答率が市の平均を下回っている。	・今後は、近代の歴史の変遷や歴史上の人物の行ったことなどを、時代の流れとともに連続的にとらえられるように、時代背景や歴史的事象が起こった要因などをしっかりおさえながら学習を進めていく。また、視覚的理解ができるようにデジタル教科書等の動画を有効に使う。